

日曜日の風景

何でもない週末の、
何でもない一日
Scene No.51

ご夫婦の生まれ育った地に念願の家を建てた一家。依頼したのは本連載でも反響の大きかったKONARA HOUSEです。作り手の世界観を踏襲しつつ、住み手のらしさが加わった魅力溢れる住まいのご紹介です。

撮影／渡辺修身 取材・文／鈴木奈代
デザイン／Permanent Yellow Orange

「ここから見る夕焼けは本当にきれいです」と奥さま。モントーンでまとめたスタイリッシュなキッチンのカウンタートップは黒い御影石。ランプはレステーションハードウェア。結婚前まで料理教室で教えていた奥さまは、将来ここで料理教室を開くのが夢だとか。





日曜日の
風景
2016年 第53号

1. 天井が高くのびやかなリビング。イタリア製の革張りのL字型ソファを置き、暖炉とTVをそれぞれ眺められるよう配置。アイアンの格子のスライドドアの向こうは玄関ホール。2. ダイニングから出入りできるスクリーンポーチは屋根のついた半屋外空間。子どもたちが遊んだり、バーベキューをする田中部のもうひとつのLDとなっています。

海と富士山が眺められる 時間をかけて育む家

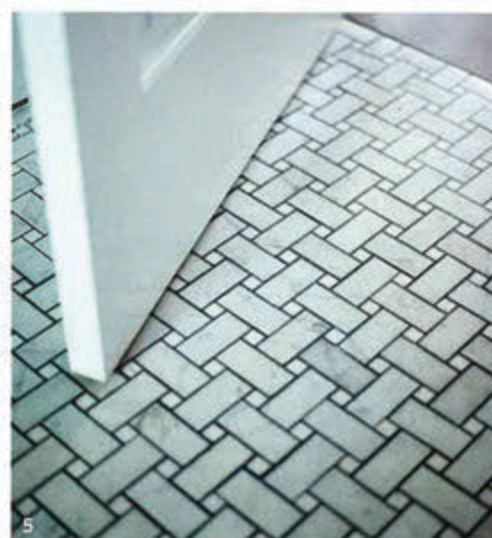
「この家で一番贅沢な場所をキッチンにしてもらいました」。シンク前に立つと、正面に見えるのは海と富士山。三浦半島のなだらかな丘の上に立つ田中部のキッチンからの眺めは、ちょっと羨ましいほど。眺望だけではなく、黒い木枠の格子窓に天然石のカウンタートップ、古材を用いた風合いのあるアイランドカウンターを囲むL字型のキッチンは、「ほとんどここに居ます」という奥さまの言葉に深くうなずいてしまう、とびきり居心地の良い場所です。家づくりを依頼したのは、KONARA HOUSE。「コンクリート打ち放しのモダンな感じの家もいいなと思っていましたし、アメリカの西海岸っぽいミッドセンチュリーの感じや北欧系、TRUCKの家具も好きだったし……そんなのが似合う家もいいな。でもKONARA HOUSEを見に行ったら、圧倒的な世界観。緑の中に家が佇んでいるあの感じに完全にやられてしまいました。好みが変わってしまったくらい(笑)」とご主人。実家の土地に家を建てるという恵まれた条件だったため、家づくりはゆっくりと時間をかけて進め、何度も打合わせを重ねました。LDKは白、黒、ベージュなどの飽きのこないニュートラルカラー、プライベートルームやクローゼットは好きな色に壁をペイントし、移動さえも楽しくなるようなドラマティックな空間が実現しています。

壁の色に関しては、パウダールームはティファニーのブルー、ベッドルームは『セックス・アンド・ザ・シティ』のキャリーのクローゼットの壁の色……と、奥さまが好きなブルーの微妙な色のニュアンスを、具体的に伝えていったそう。今まではご主人の休日である火曜日も、ショッピングなど外出することが多かったという田中さん一家。この夏はスクリーンポーチでバーベキューを楽しんだり、芝刈りをしたり、少しずつ家で過ごす時間も増えていきそうです。風雨にさらされシルバーグレーに変わっていくであろう外壁や、呼吸をしながら鉛色になっていくであろう天井や柱、梁の木材……。天然素材で作られた家が、10年、20年と年月を経てどんな姿になっていくのか。「それを今から楽しみにしています」という奥さま。家族とともに育っていく家は、まだ産声をあげたばかりです。

田中部 data

結婚後はご主人の実家近郊に暮らす。実家近くの見晴らしの良い土地に家を建て、2015年4月に完成。雑誌などで見て、実際に訪ね、強く印象に残ったKONARA HOUSE (<http://www.konarahouse.jp>) に設計を依頼。・神奈川県三浦市在住・153.10㎡・奥さまのご主人・奥さん(30歳)、奥さま(30歳)、二男ちゃん(4歳)、三女ちゃん(1歳)の4人家族。

favorite collection



1. セミダブルサイズのベッドを2つ並べた特大ベッドは特注で作ったもの。クッションはZARA HOME。ウォールランプはレストレーションハードウェア。2. 壁を藍にペイントしたクローゼットのシステム収納はイケア。3. ベッドルームの一角にはご主人が購入した、アメリカのバスや地下鉄のロールサインを転写したものを飾っています。ジョージ・ネルソンのネルソンベンチの上は、読み聞かせの絵本置き場に。



● アメリカの人気インテリアショップ、レストレーションハードウェアのウォールランプは1970年代の壁のミラーの間に設置、壁に貼ったペイントはデコペイントというアメリカ製の塗料。● この日曜日まで飾っていた「GOOD MORNING」の表紙が目を惹くオシャレなエプロンは、人気ブランド、オールドマンステアラーの高品質で100%、ダイニングの壁に貼るだけでなくお風呂にも貼ります。● リビングに貼ったモロッコ風のトレイテーブルはZARA HOMEで、上の花瓶はサラグレースで見つけたもの。● 子ども部屋に色違いで買ったスチール製のチェアはB-COMPANYで購入。ラグはH.P. DECO。● パウダールームの床は平田タイルが、大理石のモザイクタイルをバスケットパターンに貼ったもの。クラシックでまるでホテルのような高級感のある仕上がり。● 星や月が当たりで出てくるガチャガチャは、オプジェとしても可愛らしい。娘さんたちのおもちゃ、kikiのgachagacha。● プルーフが好きなお母さん、家を建てた頃にはお母さんと一緒に入ったバスが通ったようなシンデレリアはH.P. DECOで、玄関ホールの高い天井から下げています。● 料理好き、お好きなお菓子、中でも陶器製・野村景樹さんの餅が好きとか。持ち手が足の形になった白鉄製マグと白鉄花瓶はセットで購入。● プルーフのラインが可愛くフェイスタイルはロンバマンのオリジナル、ティファニーブルーに藍を塗ったパウダールームに合せてセレクト。

惚れ込んだ世界観に色や小物で個性を発揮

家づくりは時に想像を超える提案があり、とても楽しかったとか。インテリアや素材へのこだわりはもちろん、本当は平屋にしたかったという希望を生かした、子ども部屋以外が1階に配置された使いやすそうなプランです。「いつか自分たちの家を建てた時のために」と少しずつ雄貨を買って集めていただけあり、今年のGWに引っ越したばかりとは思えない完成度。奥さまは庭づくりを、ご主人はガレージに手を加え、インダストリアル系にしていけるのを楽しみにしています。